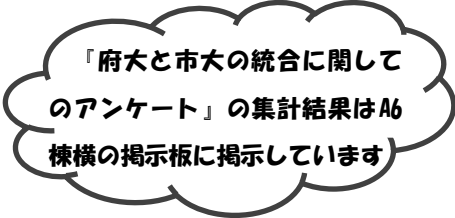


Do you know?

府市大統合

6月上旬から7月下旬にかけ、学生自治会では大阪府立大学と大阪市立大学の統合に関してアンケートを行いました。その結果、統合やそれに関わる会議が行われていることは知っているが、具体的な内容までは知らないという学生が大半であることがわかりました。ここでは、大阪府立大学と大阪市立大学の統合に関して、現在開示されている情報について紹介します。



「府大と市大の統合に関するアンケート」の集計結果はA6棟横の掲示板に掲示しています

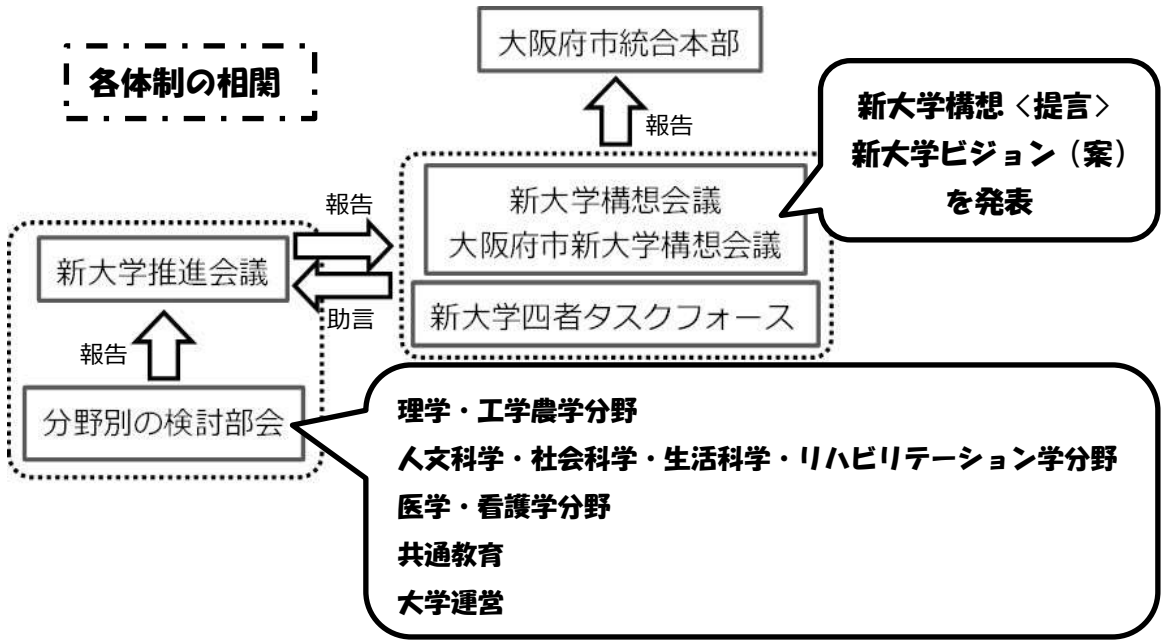
具体的な内容に入る前に、会議の種類について説明します。具体的な内容だけを知りたい方はp.6に進んでください。この統合問題に関わる会議には、主に新大学推進会議、新大学構想会議、そして大阪府市新大学構想会議があります。また、大学の統合だけではなく、大阪府市の様々な問題を扱う大阪府市統合本部があります。

大阪府市統合本部は「大都市制度のあり方など府市共通の課題に関し、行政として協議し、重要事項の方針を決める」という役割を持っています。これは、簡単に説明すると、大阪府と大阪市の二重行政の仕分けを行うとともに新たな大都市制度を検討するという目的を持っているということです。そこで、発表されたものに、「経営形態の見直し項目(A項目)」というものがあります。この「経営形態の見直し項目(A項目)」のなかには、地下鉄や病院、下水道、そして大学の項目が含まれています。

新大学構想会議は第12回の大阪府市統合本部の会議により設置が決定され、平成24年6月8日に設置されました。新大学構想会議は外部の有識者から構成され、大阪における公立大学の使命を明確とするとともに将来のビジョンを取りまとめるという役割を持っています。そして、平成24年11月20日に大阪府と大阪市による共同設置の附属機関として、大阪府市新大学構想会議が設置されました。大阪府市新大学構想会議の構成役員は右ページの表にまとめています。

新大学推進会議は、新大学実現に向けた検討体制として設置されました。また、その検討体制として新大学推進会議の下に個別の分野を検討する検討部会というものが設置されています。この検討部会は5つの分野に分かれています。その他に、新大学四者タスクフォースという検討体制もあり、これは府と市、そして両大学から構成されます。

各体制の相関



大阪府市新大学構想会議構成役員

会長	やだ としふみ 矢田 俊文	九州大学 名誉教授 (公立大学法人北九州市立大学 前学長)
副会長	うえやま しんいち 上山 信一	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	おおたけ こうじ 大嶽 浩司	自治医科大学地域医療政策部門 准教授
	おざき たかのり 尾崎 敬則	尾崎総合法律事務所 弁護士
	のむら まさあき 野村 正朗	新日本理化株式会社 取締役会長
	よしかわ とみお 吉川 富夫	元公立大学法人県立広島大学経営情報学部 教授

大阪府市統合本部

<http://www.pref.osaka.jp/daitoshiseido/togohonbu/>

大阪府市新大学構想会議

<http://www.pref.osaka.jp/shigaku/kousoukaigi/index.htm>

提言、ビジョン案などは
ここから見るこ
が出来ます。

○新大学へ向けての現状

それでは、具体的に新大学に向けて、現在どのようになっているのかを説明します。大阪府市新大学構想会議より、平成25年1月に新大学構想〈提言〉が、4月に新大学ビジョン案が策定されました。また、第4回大阪府市新大学構想会議において新大学(案)の検討状況の報告として、新大学案(素案)が出されています。ここでは、平成25年8月27日時点での話になります。

まず、新大学に向けての改革シナリオを簡単に説明します。最終的な大学統合は28年度に予定されており、そこまでに、26年度に組織の統合が、27年度には法人統合が予定されています。詳しくは下の表をご覧ください。

25年度	法人統合に向けた準備 2法人2大学	9月 秋以降	新大学案の策定 現定款の変更議案の上程 (中期目標の変更、理事長・学長の分離等) 認可申請の準備開始
26年度	組織の実質的統合 2法人2大学	4月 6月 (年内) 2月 3月	新理事長・学長の任命 新大学設置申請書の作成 入試科目の公表 学内最終手続(委員会・審議機関等) 新法人に関わる中期目標の策定、中期計画の策定 新大学設置認可申請
27年度	法人統合 1法人2大学	4月 5月 10月 2月	新中期目標スタート 大学設置・学校審議会への諮問 新大学設置の認可(見込) 学生募集・入試(認可後) 新大学に関わる中期目標の変更、中期計画の変更
28年度	大学統合 1法人1大学	4月	新大学スタート キャンパスの整理

○組織改革

組織統合の一つの目玉として、理事長と学長の分離があります。現在、大阪府立大学および大阪市立大学では理事長が学長を兼任しています。それを新大学では分離し、理事長は法人全体の改革を推進し、学長は大学運営に専念する形をとります。現在の予定では、平成26年度の4月に新たな理事長と学長が任命されます。

○新大学での学部・学域

さて、28年度の大学統合がなされた際、学部・学域がどうなるのかを説明します。下の表は新大学で予定されている学部・学域になります。「学部と学域で名前がややこしい」と思われる人もいるかもしれませんが、学部と学域では役割が異なります。学部では学術的に体系化された教育を行い、学域では学際的な学問領域を涉猟する教育を行うとしています。それでは、新大学での学部・学域ですが、一部に新設の学部・学域があります。地球未来理工学部、獣医学部、看護学部、人間科学域が新設されます。また、学科・学類も新設されるものがあります。なお、学部・学域および学科・学類の名称は仮称のため変更される可能性があります。

学部・学域	学科・学類	学部・学域	学科・学類
文学部	哲学歴史学科 人間行動学科 言語文化学科	地球未来 理工学部	地球総合理工学科 機能創生理工学科 都市システム創生理工学科
法学部	法学科	工学域	電気電子系学類 物質化学系学類 機械系学類
商学部	商学科 地域経営学科		
経済学部	経済学科 国際経営学科	生命環境科学域	応用生命科学類 緑地環境科学類 自然科学類
獣医学部	獣医学科	現代システム 科学域	知識情報システム学類 環境システム学類 マネジメント学類
看護学部	看護学科		
医学部	医学科		
理学部	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球学科	人間科学域	社会福祉学類 人間形成学類 食品栄養学類 居住デザイン学類 リハビリテーション学類

○中期目標・中期計画

これは、5年ほどの期間での大阪府立大学の改革指針およびそれを達成するための計画の事です。また、年度ごとの年度計画というものもあります。大阪府立大学のこれらの目標・計画等は大阪府立大学のウェブサイトから見ることができます。

URL: <http://www.osakafu-u.ac.jp/info/disclosure/plan/Target.html#1>

○新大学のキャンパス構想

次にキャンパスについてです。現在大阪府立大学には中百舌鳥、りんくう、羽曳野キャンパス、なんばサテライト(1-siteなんば)が、大阪市立大学には杉本、阿倍野キャンパスと梅田サテライトがあります。基本的には現在あるキャンパスを用います。そのなかで、それぞれのキャンパスに役割を持たせ、キャンパスごとに異なる教育研究を担います。また、大阪市の中心部に新たなキャンパスの設置が検討されています。最終的には、全学共通教育を一元化して行う予定です。下の図は新大学でのキャンパスの構想となっています。

